

## 認知症サポーターとチームオレンジ

みなさんは認知症サポーターをご存知でしょうか？  
知っているところか、もうすでに認知症サポーターになっている、という方も多  
いかもしれません。

### 認知症サポーターとは…

何か特別なことをする人ではなく、認知症を正しく理解し、  
偏見を持たず、認知症の人やその家族を温かく見守り、  
できる範囲で手助けをする「応援者」のことです。

自治体や企業等でキャラバン・メイト(講師)が実施する  
「認知症サポーター養成講座」の受講により、誰でもなることが  
できます。



県内の認知症サポーター数は約 14 万 4 千人 (R7.12 月現在) で、人口に占める  
割合は 12.6% ほどです。高齢化率の高い青森県では、今後さらに認知症サポーター  
を養成し、「応援者」を増やしていくことが必要になります。

認知症サポーター養成講座の受講を希望する方は、お住まいの市町村のホームペ  
ージ等を確認するか、直接お電話等でお問い合わせください。

そして、認知症サポーターから一歩進んだ取組として、チームオレンジがありま  
す。

### チームオレンジとは…

認知症サポーター同士がチームを組み、認知症の人や  
家族に対する生活面の早期からの支援等を行う取組のことで、  
認知症の人にもメンバーとして参加することが望めます。

チーム内で認知症サポーターに期待される役割は、認知症の人や  
その家族と向き合い、様々な活動を行っていくことです。

また、チームメンバーは自治体で行われる「ステップアップ研修」の  
受講が必要となります。



県内でチームオレンジを設置しているのは 10 市町、チーム数は 25 チームとな  
っています (R6 年度末時点)。

<具体的な活動内容(一例)>

- 地域の気になる高齢者宅への訪問
- 出前講座(体操・交流会など)の開催
- 認知症カフェの企画・運営手伝い
- 介護施設へ出向いての傾聴ボランティア

県では、地域での認知症サポーター等による支援の輪が広がるよう、認知症サポ  
ーターの講師となるキャラバン・メイトや、チームオレンジをコーディネートする  
人材の養成に継続して取り組んでいきます。